

## デジタルブック動向

Copyright © XMLコンソーシアム 2007 All rights reserved.



## デジタルブックとは

- クロスメディアパブリッシング部会における定義として紙とウェブに同時に展開するコンテンツを前提とする
- 最新ビジネスではないが、2006年度市場規模は約182億円※にのぼるなど、再確認の必要があるため、現状をまとめる
  - ※インプレスR&D(2007)

## 事例) 基本機能



- 起動
- ページめくり
- ズーム機能
- スクロール機能
- 厚み再現
  
- 拡張
  - しおり、目次、印刷、メモなど

## 事例紹介 (1)



### Fujisan Reader / ZINIO

形式:

アプリケーション形式

機能:

基本機能

備考:

ライブラリにて購入書籍管理

音声、映像などを新たに追加



## 事例紹介 (2)



### eBook Japan

形式:

アプリケーション形式

機能:

基本機能

枠なし最大化、ページ位置スライドバー、単ページ化、自動ページ送り、書庫ライブラリ、環境設定、操作の戻し、進み機能、ページの回転、読了スタンプ

備考:

右クリックで目次、表紙、奥付などに移動

## 事例紹介 (3)



### Flipper Maker2

形式:

Flash形式

機能:

基本機能

備考:

## 事例紹介 (4)



### 廣濟堂 / コネクトCD

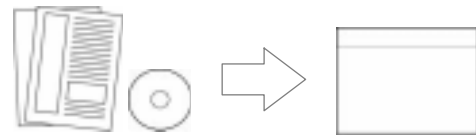
形式:

Flash形式ベース

機能:

基本機能

備考: 書籍に同梱のCDをキーとしてウェブサイトへ誘導する



## 事例紹介 (5)



### 小学館Sook, Toyota等

その他、ウェブオリジナルのコンテンツ展開をしている事例として、小学館SOOK(スーク)やToyotaの「あしたのハーモニー」などがある

形式:

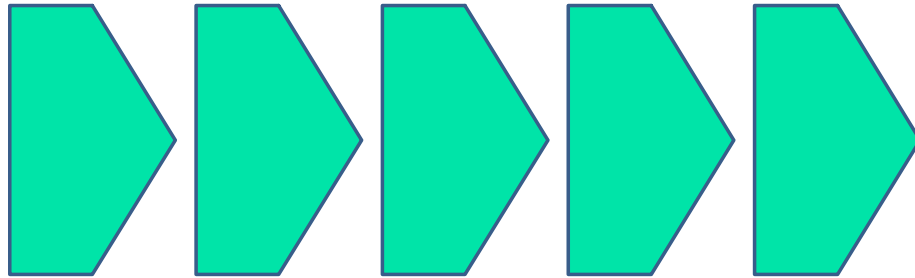
Flash形式

機能:

基本機能

備考: ネットワーク機能(付箋共有)など

## 制作フロー



- 入稿形式はPDFなど電子データが基本
- 制作については、専用ソフトを利用
- 公開形式にあわせたファイルに変換
- サーバアップ時、もしくはローカルにて動作チェック
- Webサーバにて一般公開

## まとめ

- 基本機能として、書籍の再現性を高める技術を各社が提供している
- 現在は人的資源を用いてPDF等から変換する作業が主である
- ケータイ向け電子書籍市場の拡大が著しいため、今後はケータイ技術動向も行う